

# むさし野

No.45

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方  
 電話・FAX 049-225-2466  
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp  
 ホームページ：http://www.longview.jp/musashino/

## 10年目の節目を迎え

会長 石井 満

「法政むさし野会」は今年度10年目の節目を迎えます。会なりに紆余曲折がありました。空中分解しそうな「オレンジ校友会・埼玉県支部」から改名しての発足は役員の方々がしっかりしていたから出来た事だと思います。過ぎてしまえば良い事も辛かった事も皆思い出となります。現在の会員数は46名、会費納入率は100パーセントです。

会長という立場からほとんどの会の行事に出席いたしました。そこから随分いろいろな事を学びました。県内の有名無名を問わず訪れた地域の史跡や故事来歴、そしてB級グルメや地酒。楽しい事ばかりでした。会報『むさし野』に掲載された会員からのすばらしい寄稿の多くも印象に残っています。10年が過ぎれば、新たな10年へ向かって歩み始めると、書くべきでしょうが、取りあえず新たな1年を目指します。会の高齢化を悲観するのではなく、円熟味を増した歌舞伎役者の様に更なる頂を目指しましょう。

「多士済済」が会員の方々の一番ぴったり合う形容詞だと思います。時々学生時代の侃々諤々と議論した往時を彷彿させるような居酒屋での意見交換もあります。大人の付き合い方とは腹八分だと思いますが、未熟な小生は未だ情熱の残照があるのかなと思ったこともしばしばです。

多士済済といえば、先日会員の吉田登美子さんから展覧会のお知らせを頂きました。吉田さんは「法政むさし野会」の総会時に掲げる横断幕を書いて頂いた方です。

吉田さんと仲の良い桃木さんとご一緒させて頂きました。展覧会名は「さわらび展」かな書道の展覧会でした。毛筆の展覧会には何回



か訪れたことがありますが、かな書道の個展は初めてでした。卓抜した秀作の作品の数々を鑑賞していると、書いた紙の枚数とそれに費やされ流れた年月が頭を過ぎりました。展覧会の会名「さわらび」は万葉集から取られたとの事でした。（上の写真はその時のものです）

6月2日（日）当会の総会、そして、今年は第21回法政大学全国卒業生の集い埼玉大会が9月6日（金）～8日（日）に開催されます。ぜひ皆さんで参加致しましょう。先日ある会でこんな事を言っている方がいらっしゃいました。日常生活の中で教養と教育は大事だと言う話です

教養は、今日用事が有る 教育は、今日行く処が有る だそうです。出掛ける用事を作りましょう。そして、法政の同窓に会って話をしましょう。では、総会でお目に掛かれることを楽しみにしております。

### 定期総会のお知らせ（詳細は4ページをご覧ください）

2013（平成25）年度定期総会を下記の通り開催いたします。会員各位のご出席を頂きたくご案内いたします。今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覧します。陶芸、絵画、エッセイ、著書、写真、書、新聞に掲載されたご自分の記事や寄稿等々。展示ご希望の方は同封の葉書通信欄に、作品名を書いてください。

### 第21回法政大学全国卒業生の集い 埼玉大会（9月7日）

9月6日（金）～8日（日）の3日間、表題の大会が開催されます。当会では全面的にこの大会を支持しています。9月7日（土）パレスホテル大宮での大懇親会に皆様のご参席をお願い致します。申込方法は参加申込書の所属団体名に「法政むさし野会」として下さい。

## ■ 第1号議案 2012(平成24)年活動報告

1. 定期総会の開催
  - ・定期総会：12年6月3日（日）、於：浦和コミュニティーセンター（パルコ10階）  
提出5議案（11年度活動報告、11年度決算及び会計監査報告、12年度活動方針案、12年度予算案、役員改選及び顧問の指名）を原案通り可決・承認。出席者：22名
2. 役員会の開催
  - ・第1回役員会：12年6月3日（日）、於：浦和コミュニティーセンター
  - ・第2回役員会(拡大)：12年11月4日（日）、於：秩父市・武蔵屋
  - ・第3回役員会：13年2月10日（日）、於：浦和コミュニティーセンター
3. 会報の発行
  - ・会報「むさし野」第42号：12年5月5日「定期総会開催告示他」
  - ・会報「むさし野」第43号：12年9月15日「定期総会報告、会員の声他」
  - ・会報「むさし野」第44号：12年1月15日「年頭所感、見学会報告他」
4. 研究発表会・見学会の開催
  - ・第24回「秋の秩父路散策」見学会（秩父ミュージックパーク～昼食・懇談「武蔵屋」～秩父神社～武甲酒造～今宮神社～秩父13番札所）：12年11月4日（日）、  
参加者：9名
  - ・第25回研究発表会：13年2月10日（日）、於：浦和コミュニティーセンター  
[発表者] ①堀家隆房会員『心理カウンセリングの世界』 ②ビデオ観賞  
（群馬県板倉町、見学会「秋の秩父路散策」・制作：筑井信明会員）参加者：19名
5. 講演会の開催
  - ・定期総会記念講演会：12年6月3日（日）、於：浦和コミュニティーセンター  
演題：『平清盛と平家物語』 講師：会員・青木美枝氏 参加者：23名
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
  - ・第20回法政大学全国卒業生の集い『島根大会』：12年11月17日（土）～19日（月）、於：ホテル一畑（松江市）参加者：2名
  - ・13年オール法政新年を祝う会：13年1月26日(土)、於：グランドプリンスホテル新高輪 参加者：12名(内、他団体での参加会員3名・会員家族等関係者2名)
7. その他
  - ・11年度通信教育部卒業生（埼玉県出身）への入会勧誘文書・会報等による入会勧誘活動の実施
  - ・法政大学関係先及び法政大学校友連合会地域支部・学部同窓会等への会報の送付。
  - ・その他、会員名簿の作成・配布、ホームページの充実及び第21回法政大学全国卒業生の集い『埼玉大会』（開催：13.9.6～8）への参加・協力体制の検討等。

## ■ 第2号議案 2012(平成24)年度収支決算及び監査報告

### 1 収支決算書1

収入の部 自 2012(平成24)年4月1日 至 2013(平成25)年3月31日

支出の部 自 2012(平成24)年4月1日 至 2013(平成25)年3月31日

科目	予算額		決算額		備考
繰越金	14,306		14,306		
会費	86,000		92,000		46名
雑収入・会合参加費	6,694	33,000	6,759	39,000	寄付 受取利息
合計	140,000		152,065		

科目	予算額	決算額	備考
会場費	15,000	4,785	勉強会会場費代等
通信費	30,000	26,680	
総会費	40,000	12,799	講師謝礼等
印刷費	39,000	38,600	
事務費	4,000	37,800	コピー代等
勉強会	6,000	3,000	勉強会講師資料代等
予備費	5,000	0	
次年度繰越	1000	46,440	
合計	140,000	152,065	

### 2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成24年度（2012年4月1日～2013年3月31日）収支計算及び付属書類について、2013年4月3日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されている事を認めます。

会計監査 鹿野 幸作 ㊟

会計監査 小林 薫 ㊟

## ■ 第3号議案 2013(平成25)年度活動方針（案）

本会の目的を達成する為に、昨年度同様「会員による研究発表会・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主たる活動に、その他、母校法政大学及び会員のご協力の下、入会勧誘活動を展開して行きます。また、卒業生として法政大学校友連合会並びに学部同窓会・地域支部との情報交換、それらの行う諸事業に参加・協力して参ります。

1. 定期総会の開催 2013（平成25）年度 定期総会

2. 役員会の開催 定例会を年3回
3. 会報の発行 年3回(5、9、1月に発行)
4. 研究発表会の開催 年2回(10、2月に開催)
5. 講演会の開催 定期総会開催時 講師 法政大学 井坂義雄名誉教授
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
  - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ
  - ・第21回法政大学全国卒業生の集い 埼玉大会 9月6(金)～8(日)
  - ・2014年「オール法政新年を祝う会」1月26(日) ホテルグランパシフィック
  - ・その他、箱根駅伝などの応援等
7. 新規会員の勧誘 法政大学卒業生・後援会連携室及び会員の紹介による勧誘活動を主に展開を図る
8. その他ホームページの充実 会員名簿の配布 連絡通信体制の整備(メール、ファックス等による)

## ■ 第4号議案 2013(平成25)年度収支予算(案)

収入の部 自 2013(平成25)年4月1日 至 2014(平成26)年3月31日

支出の部 自 2013(平成25)年4月1日 至 2014(平成26)年3月31日

科目	本年度予算額		前年度決算額		備考	
繰越金	46,440		14,306			
会費	92,000		92,000		46名	
雑収入	会合費	1,560	40,000	6,759	39,000	受取利息・寄付など
合計	180,000		152,065			

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	5,000	4,785	会場費
通信費	30,000	26,680	送料等
総会費	40,000	12,799	講師謝礼・会場費
印刷費	40,000	37,800	会報代等
事務費	4,000	1,941	コピー代など
勉強会	6,000	3,000	
予備費	55,000	65,060	繰越金 46440 含
合計	180,000	152,065	

## 「心理カウンセリングの世界」を学ぶ—2月の勉強会— 鹿野幸作(千葉県)



講師の堀家さんはカウンセラー

今回の勉強会のテーマは「心理カウンセリングの世界」と題しての説明で、本題に関しての話は初めてであったこともあり、大変興味をそそる内容であった。

しかも講師は外部講師

ではなく、法政大学の同窓生(会員)であることから、親近感をもって臨むことができた。

人は悩む、悩みのない人などいない。同じ問題が起きてもそれぞれ受け止め方が違い、ものごとをポジティブに考える人、ネガティブに考える悲観的な見方をする人など人それぞれであり、個人差がある。カウンセリングを行うところは全国に500カ所を超えるということで、このことから最近では精神的問題を抱える人がいかに多いということが容易に推察できる。

これらは家庭の問題、近隣、学校、職場、更には青少年問題などの社会的な問題、健康や金銭的な問題などが増大していることによるものである。

カウンセリングはクライアントの心の問題、悩みを捉えるもので、クライアントの性格、思考恣意、生活環境、対人関係などそれぞれ違うものであるから、それらに対応するにはカウンセラーには高度な専門知識が要求される。精神疾患である鬱は不安障害、摂食障害、人格障害、アルコール依存症、などと一緒に現われる

ことが多く、更には孤独感、疎外感など複雑に絡みあっている。またわれわれの体の中の神経伝達物質のセロトニンやノルアドレナリンは、神経系統の機序に大きく関わっているため、このことからいかに複雑であるかがわかる。

講師が専門的な知見を有しているから、本質的には難しい問題を比喻を交え聴く者にわかりやすく丁寧に説明していただき、大変参考になった。

## 2013 オール法政新年を祝う会

飯田 桂子(東京・小平市)

2013年1月26日(土) グランドプリンスホテル新高輪にて、アリオンコールの校歌、学生歌の高らかな響きと共に、校友連合会副会長、岩村元雄様の開会宣言に始まり、校友連合会会長、桑野秀光様につづき埼玉県知事、上田清様には全国卒業生の集い埼玉大会のご案内を、引き続き感謝状授与。東京都校友会会長阿部鞏様の乾杯の音頭で食事と歓談がスタート。

サムライジャパン総監督山本浩二様の迫力あるお話や、ロンドン五輪メダリスト、三宅広美様の銀メダル獲得のお話、埼玉大会実行委員による大会のご案内のあとアトラクションがはじまり、「ペギー葉山」特別シ



# 総会の記念講演 は『外から見た日本』

法政大学 井坂義雄名誉教授

2013（平成25）年度定期総会を表記の通り開催いたします。なお、総会出欠のハガキは5月15日までに投函願います。

## 定期総会スケジュール

- ・日 時 2012年6月2日（日）13時00分～17時00分（役員の方は12時30分までにご参集下さい）
- ・場 所 パルコ浦和東口 10階第6会議室（JR浦和駅東口徒歩1分）  
今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覧します。
- 第1部 総会 13：00～13：30
  - ・会長挨拶
  - ・議事 第1号議案 2012年度活動報告 第3号議案 2013年度活動方針
  - 第2号議案 2012年度収支決算及び監査報告 第4号議案 2013年度予算
- 第2部 講演会 「外から見た日本」法政大学 井坂義雄名誉教授 13：30～15：00（終了後、写真撮影）
- 第3部 茶話会 15：10～17：00

一ではご主人の根元淳さんの思い出話を交えながらテネシーワルツを皮切りに当時のヒット曲を思いきり歌われて、懐かしい気持ちになりました。

応援団のチアリーディング部の見事な出来ばえを見届けて、校友連合会副会長、岡田安弘様の閉会のご挨拶、そして校歌斉唱でお開きとなりました。

## 介護する側 される側

原 小夜子（さいたま市）

「介護の世話にならずに元気でいられるならばいいけれど、そうでなければ長生きしてもねえ……」大半の人はこんな言葉を口にします。また、家族にはいつまでも元気でいてほしい、と願っています。しかし個人差はあるものの年齢を重ねると心身の機能が低下し、誰もが「老い」と「介護」の問題を避けては通れないのが現実です。家族や両親が歩けなくなったり、寝たきりや認知症になったりして、いざ介護が必要になると、介護する側にとっても、される側にとっても、さまざまな問題が生じて来ます。

私自身も15年前になりますが、郷里の母が入院し、歩行も排泄も一人ではできない状態で自宅に帰されてきました。介護者がいなければ在宅生活はとても無理な状態でした。当時私は多忙な仕事に追われ、休むこともままならず、介護の為に辞める事も出来ずに思い悩みました。しかしどうにか仕事を調節して帰郷し、母の介護にあたりました。そんな中、介護福祉関係の、親身かつ迅速な対応により、母は老人保健施設に入所する事が出来ました。入所後、介護、リハビリ等のお蔭で歩けるまでになったのです。半年後自宅に帰りヘルパーさんの援助を受けながら、本人の望む住み慣れた我が家で生活を（数年前他界するまで）送りました。

私も長年、医療福祉の専門職として支援相談業務に携わっていますが、退職せずに続けられたのは、介護する側として福祉介護サービスを利用し、無理なく介護をし

てきたからだと思います。しかし反面には、介護する側、される側も、世間体を気にしたり、責任感や優しさから無理を重ねてしまったり、一人で抱え込んだりして、心身の不調や持病を悪化させてしまうケースも多々あります。また身近な人が認知症になり、物忘れや様々な問題行動にどう対処してよいかわからず、怒鳴ったりたたいたりを繰り返すなど、虐待、ノイローゼ、病状の悪化、進行など、厳しい介護の現状が多々あることも事実です。

介護保険がスタートしてから今年で13年、介護の軽重やニーズ、本人家族の意向は様々ですが、「介護は一人では無理です」といっても過言ではありません。介護が必要になっても、身も心も疲れない介護、つまり頑張り過ぎず（頑張らない）、負担の少ない方法で、お互いに穏やかに過ごして行くことが何よりも大切だと思います。そのためには、①情報や介護の仕方を知る、②役所の高齢介護課や支援センターなどの専門家に相談する、③介護サービスや社会資源を上手に利用する、④家族や被介護者、あるいは他の協力者に遠慮しないで声掛けをする。一人で抱え込まずに人の手を借り、自分の生活を楽しむゆとりを持ちながら、介護生活を送っていくことが大事だと思います。

介護する側も介護される側も、元気な心で、明るく安心して、残された大切な人生を生きたいものです。

◇ここに残った言葉（今回は新聞の投書欄から）◇

娘から母へ：「お母さん私を産んでくれてありがとう」▼妻から今は亡き夫へ：食品スーパーであなたが好きだった好物をつい買い物かごの中に入れてしまった。「うっかりしてたわ、あなたはもういないのよね。でも、あなたが好きだったお料理を作るから今夜は一緒に食べようね」▼先に逝ってしまった息子へ：君と一緒に過ごした日は短かったが、楽しい思い出をたくさん残してくれてありがとう。君がお父さんの息子であったことを誇りに思っている。▼若き日に好きだった貴女へ：あの頃メールがあれば、二人の人生は変わっていたらうにね。（鹿野）